

# 企業が求める

館林商工高で進路講演会

## 人物像を学ぶ

明和町の館林商工高(中野勇治校長)は同校体育館で進路講演会を開き、1年生約200人が就職試験でのポイントや企業が求める人物像など就職活動の基礎を学んだ。

対人能力の大切さ訴え

同校では卒業後に就職を希望する生徒が約3割いることから、早期の進路指導を実施している。今回の講演会は、就職支援のプロに講演活動などをしてもらう県教委の「キャリアアドバイザー活用事業」を利用して初めて開かれた。

県内各地で若者の自立支援に携わっているNPO法人「キャリア倶楽部」(高崎市)の理事長で、同アドバイザーも務める太田和雄さんと、同法人顧問の真木寛さんが講師を務めた。

2人は就職率が伸び悩んでいる近年の状況や就職することの意義について説明。その後、就職活動のポイントとして、コミュニケーション能力の大切さを挙げ、1年生全員に相つちの打ち方や返事の仕方を練習させた。

最初は恥ずかしがっていた生徒たちも、将来の人生にかかわることだけに真剣な表情で取り組んでいた。



館林商工高1年生に就職活動のポイントなどを説明する太田さん(右)